



天文資料

2026年 4月号

令和8年度 第1号 (4月号)

令和8年3月25日

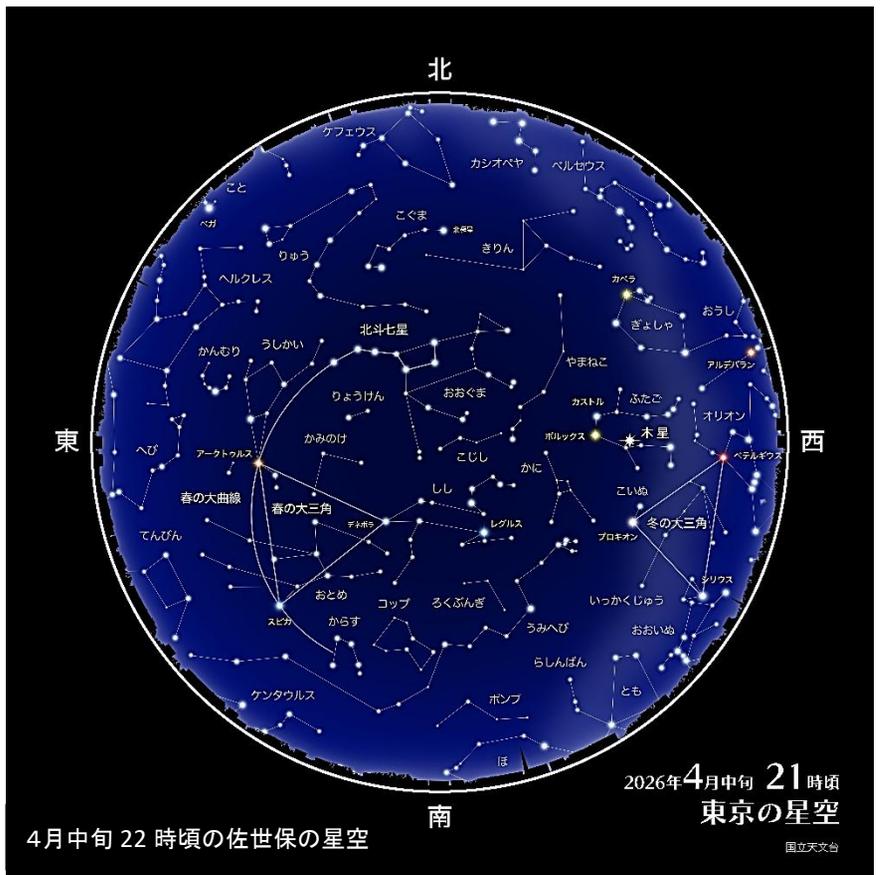
発行：佐世保市少年科学館

佐世保市少年科学館



「こと座流星群」が見ごろに>

夕方、暗くなった頃の空を見上げると、西の空には冬の星座の星々がまだ残っています。その中で高い空には木星、低い空には金星が輝いています。月が19日には金星に、22日、23日には木星に近づきます。星空の中を移動していく月と惑星たちとの共演を楽しみましょう。4月こと座流星群が22日深夜から23日未明にかけて見頃を迎えます。流星の数は多くはありませんが、今年は月明かりの影響が少なく、比較的良い条件で観察できます。



4月中旬22時頃の佐世保の星空

2026年4月中旬 21時頃
東京の星空

国立天文台



- ・2日 満月
- ・4日 水星が最大離角
- ・5日 清明
- ・10日 下弦
- ・17日 土用の入り(太陽黄経27度) / 新月
- ・20日 穀雨(太陽黄経30度)
- ・23日 5時頃、4月こと座流星群が極大(見頃は23日未明。1時間に10~15個程度。月の条件は比較的良い)
- ・24日 上弦

3月3日の皆既月食が終わりました。今年日本で見られるのは、これが最初で最後でした。今年度は、流星数が多い三大流星群のうち、8月のペルセウス座流星群と12月のふたご座流星群は、月明かりの影響のない良い条件で見られるでしょう。特にふたご座流星群は極大時刻も日本の深夜に重なり、絶好の条件です。少年科学館では、「天文資料」として、毎月25日頃に、翌月の情報を紹介していくこととしています。情報を得て、夜空を見上げてはいかがでしょうか？